

文教常任委員会管内調査 事業説明資料

令和5・6年度 読書活動推進校
朝来市立朝来中学校 事業報告



日時 令和7年1月22日（水）
13時35分～14時45分
会場 朝来市立朝来中学校 多目的ホール他

令和5・6年度 読書活動推進事業

1 研究主題

読書の楽しさを感じ、広い視野をもって深く考える力を育む読書活動

～「あさご森の図書館」を中核とした校区小中学校・保護者・地域との連携～

2 研究主題の設定理由

読書は生徒の知的活動を増進し、人間形成や情操を養う上で重要な活動である。本校の生徒は過去数年の全国学力・学習状況調査の結果から、場面の展開や登場人物の心情変化など、描写を基に捉える「読むこと（読解力）」に課題がある。また、学校以外で読書を全くしない生徒が半数を占め、読書嫌いの生徒が4割程度いる。さらに、スマートフォン等によるSNSの利用時間が年々増加している。

そこで、読書の楽しさを感じる読書活動を推進することで、学校以外での読書時間が増え、同時にスマートフォン等の利用時間が減少すると考えた。また、読書を通して、視野が広がり、深く考え、物事にじっくりと取り組む力が養われることを期待し、研究主題を設定した。

校区にある「あさご森の図書館」と連携をすることで、図書館利用の増加のみならず、読書活動の有効な手段などについて専門的な立場から指導助言を頂き、校区小学校や保護者にも読書活動についての啓発を行い、共に取り組むことでより一層読書活動の推進を図ることができると考えた。

令和5・6年度の2年間で、生徒たちの「読書」による心の変化や成長が見られ、「本との出会い」によって、自分自身の未来が変化していく実感を味わえるよう、生徒や地域の実態を踏まえながら、あらゆる角度から取組を進めていきたいと考えた。

3 学校の研究主題との関連

本校の研究主題は『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の促進』である。副題として「自立につながるキャリア教育の推進」を掲げている。令和2・3年度には、9年間を通したキャリア教育の充実事業の協力校として取り組み、その取組は、現在も学校教育活動の中に組み込まれ、活かされている。

読書活動推進事業において、本校の研究主題「主体的・対話的で深い学び」は、読書活動とも関係が深く、選書をはじめ読書活動そのものが主体的な活動であり、読書による登場人物や筆者との対話、自分自身との対話、感想を交流するといった他者との対話をとおして、自己の考えを広げたり深めたりすることが可能であると考えた。

さらに、キャリア教育の観点からも、小学校時代に読んだ本や中学校時代に読んだ本、これから読みたいと思う本などを結び付けることで、生涯を見据えて、学ぶ意義や目的を見出すことに繋がり、読書活動によるキャリア教育の進展を図ることができると考えた。

4 研究の全体計画の概要

【令和5年度】

5月	令和5・6年度読書活動推進事業 第1回連絡協議会
6月	第1回校区読書担当者会でアンケート内容協議→第1回アンケート実施・分析 第1回校内読書活動推進委員会にて推進事業計画、立案、共有
7月	校内読書コーナー設置「先生からおすすめ本の紹介」「図書委員のおすすめ本」
8月	全職員「あさご森の図書館」訪問・図書館職員助言による校内図書室の整備
9月	下校時、「あさご森の図書館」生徒利用推奨日開始 第2回校内読書活動推進委員会にて今後の具体的取組について検討
10月	保護者「おすすめの本」紹介依頼 「あさご森の図書館」展示 全校生徒「おすすめの本紹介」作成・校内展示
11月	3年生「あさご森の図書館」にて読み聞かせ講習受講 3年生 校区小学校訪問 小学校1, 2年生に読み聞かせ実施 2年A組 研究授業「ビブリオバトル」
12月	「あさご森の図書館」に本校職員及び保護者、地域住民作成ギフトツリー掲示
1月	第2回校区読書担当者会にて第2回アンケート、今後の事業について協議
2月	第2回読書アンケート実施 ・ 事業まとめ
3月	第3回校区読書担当者会（アンケートの分析・結果の周知方法など） PTA 広報へ事業報告掲載・事業報告 HP 掲載

【令和6年度】

4～5月	組織確立・推進事業計画、立案、共有・事業内容 HP 掲載 第1回校区読書担当者会にて本年度活動の検討
6月	読書月間「先生からおすすめ本の紹介」ディスプレイ展示
7月	1年生 ポップ作り用図書の選書 / 3年生 読み聞かせ絵本選書
8月	研究授業の計画、立案・図書室の整備
9月	R6 中間経過読書アンケート実施、分析 / 1年生 ポップ作り
10月	第2回校区読書担当者会にて企画の検討 / 読書週間の実施 3年生「あさご森の図書館」職員による読み聞かせ講習受講
11月	3年生 校区小学校訪問 小学校1, 2年生に読み聞かせ実施 2年A組 研究授業「ビブリオバトル」
12月	あさご森の図書館・小中連携取組「一つ大人になる君へ」保護者ポップ募集
1月	第3回校区読書担当者会にて第3回アンケート、今後の取組について協議 第3回読書アンケート実施、分析、結果の周知 「一つ大人になる君へ」図書館に展示
2月	第4回校区読書担当者会にて第3回アンケート分析・事業まとめ
3月	PTA 広報へ事業報告掲載・事業報告 HP 掲載

5 研究における推進体制の概要

(1) 校内読書活動推進委員会

管理職・読書活動推進員・国語科担当で構成し、研究の全体計画の企画・立案や具体的な取組方法について協議検討を行った。

- ①校内研修部会・・・小中連携担当による具体的な連携の推進
- ②生徒会・・・図書室の自治的運営、委員会による読書活動の啓発など
- ③保護者・地域・・・PTA、学校運営協議会、近隣図書館との連携

(2) 校区読書担当者会

中学校管理職と中学校読書活動推進員、校区の2つの小学校から読書担当者と地域の「あさご森の図書館」職員で構成し、あさご森の図書館職員より専門的な助言等を頂く中で、読み聞かせ指導、読書アンケート内容の検討や分析、小中連携の取組などについて協議検討を行った。

6 具体的な取組内容

(1) 令和5年度から継続した取り組み

①『おすすめ本のポップづくり』

○実践のポイント

ひと目で本の魅力が伝わるように、情報を取捨選択し工夫させた。

○ねらい

小学生に対して、自分の薦めたい本のポップを作ることができる。

○指導過程

1学期に取組の概要を説明後、おすすめ本の選定、ポップ作成を経て11月訪問時に3年生が各小学校へ届けた。

○指導上の工夫

ポップの見本として、教師が選定図書のポップを作成し、見通しを立てて指導した。



(1年生が作成した「おすすめ本」のポップ)

② 国語授業『ビブリオバトル』

○実践のポイント

本紹介のスピーチを工夫し、聞き手の視覚補助につながるようなスライドも作成するなど、魅力的な発表・提示を意識させた。

○ねらい

聞き手を意識して本の魅力が伝わるような紹介の仕方を考え、読書を通して他者と意見や感想を共有する楽しさを知る。

○指導過程

ビブリオバトルの概要を説明し、10月半ばから本の薦めたいポイントや発表原稿を考えた。その後、魅力がひと目でわかるようなスライドが完成するよう指導した。個人練習、班内予選、本選という流れで取り組んだ。

○指導上の工夫

初めに全国のビブリオバトル大会を鑑賞し、イメージを持たせたあと、発表原稿やスライドづくりをおこなった。すべてにおいてアドバイスシートや見本を作成し、読書に苦手意識をもつ生徒も安心して取り組めるよう配慮した。



(2年A組 本選発表の様子)



(班での予選の様子)

③『小学生への読み聞かせ』

○実践のポイント

小学校低学年に向けて、年齢に合わせた絵本で読み聞かせをした。

○ねらい

聞き手に寄り添った読み方をし、小学生にも絵本の楽しさを味わってもらおう。

○指導過程

絵本の読み聞かせ方法の指導を受け、班ごとに練習した。絵本のポスターを作成し校区内の2つの小学校に赴き、1, 2年生に読み聞かせを行った。

○指導上の工夫

「あさご森の図書館」の職員より適切な読み聞かせについての指導を受けた後、活動を開始した。



(小学生を前に読み聞かせ)

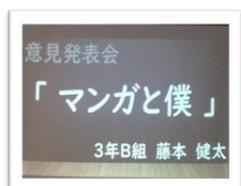


(絵本紹介のポップをプレゼント)

(2) 豊かな心をはぐくむ読書活動

①『意見発表』

昨年度と同様に文化祭意見発表のテーマの一つに読書活動を取り上げ、読書の在り方について全校生が深く考える機会を設けた。



(文化祭での本に関する意見発表)

②『読書の木』

図書委員プロジェクトとして、2週間の期間を設け、その間に読んだ本の題名と作者名を掲示物にした。生徒同士で読んだ本の感想を交流し、新たな本との出会いの場になった。



(図書館前に展示)

③『全校集会でのおすすめ本紹介』

各クラスで行っている1分間スピーチのテーマを「友達に薦めたい本」にした。クラス代表が月に一回の全校集会の場で発表する機会を設けた。



(本の紹介を発表する全校集会の様子)

④『読書アプリの導入』

自分が読んだ図書や友達を読んだ図書の感想を交流しやすくするために、読書アプリを導入した。読んだ図書を取り込むと、表紙部分がタブレット内で表示され、達成感や読書意欲につながると考えた。導入後はクラスメイトが読んだ本をチェックする生徒も増え、定期的に更新することで生徒たちの話題の一つとなった。



(読書アプリ導入の様子)



(読んだ本を取り込む様子)



(3)「あさご森の図書館」との連携

①『図書館視察』

全職員で「あさご森の図書館」を訪問し、図書館職員や読書ボランティアに学校の図書室の運営方法や施設、蔵書等について指導を受けた。



(「あさご森の図書館」で校内研修)



(図書室の整理整頓及び模様替え)

②『放課後 図書館利用』

令和5年度2学期以降、部活動のない水曜日を『「あさご森の図書館」利用推奨日』として下校時に、「あさご森の図書館」の利用を促した。また、本校の生徒がお薦めする本を「朝中生おすすめ本」のコーナーを、図書館内に設置していただいた。



(放課後に「あさご森の図書館」に立ち寄る生徒)



(朝中生のおすすめ本コーナー)

③『おすすめ本紹介「ギフトツリー」展示』

「あさご森の図書館」に「ギフトツリー」と題した掲示物を、小学生・中学生・保護者・地域住民等が協働で作成し、利用者の交流を図った。

④『図書館での選書・貸出』

1年生総合の時間に全員で「あさご森の図書館」を訪れ、小学生へのおすすめ本の選書をおこなった。選んだすべての本を一定期間貸し出していただき、読み返したり、ポップ作りに活かした。



(ギフトツリー展示)



(紹介したい本を選ぶ様子 1年生)

(4) 読書活動における異年齢交流

①『一つ大人になる君へ』・・・「あさご森の図書館」・小中連携企画

～一年一年、一つ一つ成長のステップをともに大人になっていく自分自身、友達、我が子に向けて、本を通じてメッセージを送り合い、本への関心を高めながら、自分自身の成長へとつなげる取組～

○実践のポイント

生徒同士だけでなく、保護者の方にも「今、みんなに薦めたい本」を考える機会とした。

○ねらい

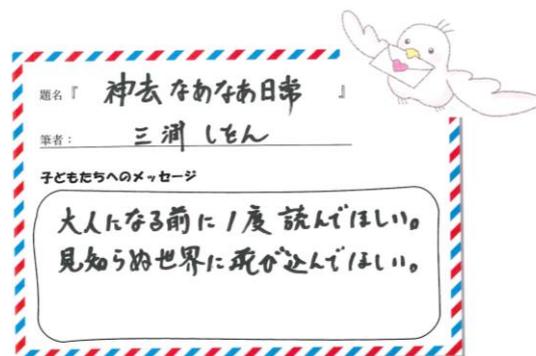
本のポップをタブレットで作成することで、魅力的なポップづくりを考えさせたい。また、保護者や地域の方々に対しては、会話が減ってきている昨今、本を通じてメッセージを送ることで子どもたちの読書への関心を高め、心の成長につなげたいと思った。

○指導過程

各学年、決められた日程内でスライドづくりをさせた。保護者に対しては11月下旬に生徒を通して配付し、作成依頼をした。また、校区内の2つの小学校においても同じ取り組みを実施し、「あさご森の図書館」に展示することで、地域の方々へ広がるよう企画した。



(生徒作品)



(保護者からのメッセージカード)

②『あさご元気まつりでのボランティア活動』

地域のお祭りにて、ボランティアで読み聞かせ活動を行った。



(地域の子どもたちに絵本の読み聞かせ)

7 研究の成果 ～アンケートからの考察を含む～

令和5年度は6月と2月にアンケートを2回実施した。同じ質問内容については、児童生徒及び保護者において大きな変化は見られなかった。2回目のアンケートでは児童生徒に、読書による価値観の変化や思考面の変化について質問した。読書によって新たな価値観に出会った児童生徒が約6割、新たな思考を感じとれた児童生徒が約5割あった。このことから半数以上の児童生徒が読書活動によって知的活動が増進され、人間形成や情操を養うことができた。

また、児童生徒に令和5年度の取組で印象に残っている活動について質問したところ「読み聞かせ」「お薦め本紹介」「ポップ作成」などに多くの児童生徒が次年度も取り組んでみたいと回答している。これは、単に「本を読む」という活動にとどまらず、本を通して人との交流が図ることができた成果でもある。

教職員のアンケート結果は、読書活動推進事業を通して、児童生徒の本への興味関心が高まったことや児童生徒と読書に関する会話が增えるなど、本事業に肯定的な回答が多くあった。何よりも教職員自身の読書量が増えており、今後さらに読書の良さについて教師発信で生徒に伝わっていくことが期待された。

2回目のアンケートでは1回目と比較して児童生徒の不読率や読書時間の減少が学校でも家庭でも高くなっている。保護者においては1回目のアンケートで「お子さんが読書する時間が増えて欲しいと思いますか」の質問を2回目のアンケートでは「お子さんが読書する時間は増えたと思いますか」に変えて質問した。その結果、保護者は読書して欲しいと願っていても、児童生徒の読書する時間が増えていない厳しい結果であった。この結果は保護者の期待の高さの表われでもあり、保護者の期待と児童生徒の読書量増加が比例に転じる取組が求められたものと捉えている。さらに、保護者の記述アンケートの中には「大人が本を読む機会が減った」「大人も携帯を触って過ごしている」など、読書に親しみにくい環境を嘆いている記述も多く見られた。このような中で、不読率を改善に導くのは容易ではなかった。

幸い児童生徒は読書によって新しい価値観や思考力に触れる楽しさを感じ取っており「読み聞かせ」や「ポップ作成」などの活動にも意欲的であった。生徒一人一人や学級、学年といった単位で読書状況を可視化し、記録や掲示をしていくことで、不読率の改善につなげていきたいと考えた。

令和6年度は、9月に生徒対象の途中経過読書アンケートを実施した。アンケートの内容を若干、変更し、生徒の内面を聴きだすような内容も加えてみた。生徒が入れ替わっているのも、前年度のデータとの単純な比較はできないが、項目ごとに分析をおこなった結果を以下にまとめた。

① 「読書が好きですか」

「好き」と答えた生徒は34%であり、前年度と変わらない数値である。「どちらかというところ好き」という生徒もあわせると、全体の73%は読書に興味を持っているということであった。

② 「1日の読書時間」

忙しい中学校生活の中で、読書に取り組む時間は多くない現状から、「30分以上」の生徒の割合は約30%と読み取れる。一方で、「読まない」生徒は、15%。6～7人に一人の割合で、本に触れない生徒がいることになる。さらに、「学校以外での読書」時間を見ると、「30分以上」は20%、「読まない」生徒は、約50%にも上る。学校が読書の機会の中心であることがわかった。

③ 「電子書籍での読書」

前年度と比べて増加したのがこの項目である。前年度、16%、20%であったのが、28%に増えている。紙媒体での読書は減少しているが、電子版ではわずかながら増加している。

④ 「学校図書室の利用」「あさご森の図書館の利用」

依然として、利用率が低い。図書館で本を借りていない生徒は約80%に上る。最も多い理由は「借りる時間がない(32%)」「ほかにやりたいことがある(26%)」である。読書の機会として「学校」が中心であるにもかかわらず、「時間がない」という理由が占めるのは課題として注目すべきである。

⑤ 「好きな本・好きなジャンル」「薦めたい本の有無」

「好きな本がある」と答えた生徒が約75%もいることがわかった。「読書」を苦手と感じる生徒も一定数いる反面、今まで読んだ本で、自分が「好き」と思える本に出会っている生徒も一定数いる。好きなジャンルはマンガが多いが、読書への入口、きっかけがマンガであることは肯定すべきであり、図書室(館)のマンガを手にする機会が広がり、来室・来館者数の増加につながるのでは、と学校運営協議会での助言もあった。

さらに、人に薦めたい本があるかの問いには63%の生徒が「ある」と答えていた。このことが本事業の「おすすめの本紹介」の原動力にもなっていたといえる。人にその本の魅力を伝えたいと思えば、その本への愛着も深まり、また人から本を薦められれば、自分も同じような気持ちになり本への興味が沸く。本校生徒の魅力は「素直な心」を持っていることであり、お互いに本の面白さを伝えあい、感想などを交流することで、本への興味が高まっていくことが想像できた。

⑥ 「読書と感情」

本を読んだときにどんな気持ちになるか?という内面を問う新しい質問にいくつかの意見があがっている。本好きな生徒の意見では、本の魅力を発信したいエネルギーがうかがえる。こういった素直な感情を「おすすめ本の紹介」「ポップ作り」「ビブリオバトル」などでアウトプットすることで、ゆっくりではあるが、生徒の本への興味関心が高まることが期待できる。

昨年度から取組を続けたことで、学校の中に「読書」という言葉があふれることになった。校内のあちこちに「本の紹介」の掲示物があり、思わず歩くのがゆっくりになる生徒や、朝早く登校して一人でじっくり本を読む生徒、誰かに本を紹介するために一度読んだ本をもう一度読み直す生徒など、今まで見られなかった生徒の姿に出会った。部活動のない水曜日やテスト前の期間などは、「あさご森の図書館」に足を運ぶ生徒が増えたと話してくださった図書館職員の笑顔とその言葉も、この事業の成果の一つではないかと考える。

昨年度、本事業でビブリオバトルを実践した2年生が3年生になり、当時、先輩がおこなっていた「小学生への読み聞かせ訪問」を今度は自分たちがおこなうことになり、自分たちが経験したビブリオバトルを今度は後輩たちが挑戦することになった。そういった「読書の空気」の継承のようなものが校内に漂い、より良いものにしたいという意欲を強く感じた。実際に、3年生は小学生への読み聞かせに向けて、「あさご森の図書館」職員を講師とし、読み聞かせ指導を受けたが、その楽しそうな練習風景が大変印象的であった。予定していなかった本の紹介ポスターを自主的に作成し、「もっと小学生たちを喜ばせたい」という積極的な気持ちを見せてくれた。

国語の授業「ビブリオバトル」では予選、本選を通して、生徒たちはもちろん、教科担当、学年職員が一体となって、熱気あるバトルを披露するに至った。本選に選ばれなかった生徒たちが、「自分たちの作ったパワーポイント資料を掲示して欲しい」「他の班の子、他のクラスの子がどんな本を読んでいるのか、知りたい」と声をあげ、その声に押されて貼られた掲示物を真剣に見ている横顔も印象深かった。

12月には保護者からも「一つ大人になる君へ」と題し、本を通じて我が子にメッセージを贈る企画を投げかけたが、メッセージカードは翌日から集まり始め、ふだんは言えない親の思いのこもったカードが多く、「あさご森の図書館」に展示するのが待ちきれないほどである。「本」の持つ力の違った側面を感じることができた。

最終となる第4回読書アンケートは、1月下旬～2月上旬を予定している。第1回のアンケート結果と比較して、この2年間の成果と課題をまとめていきたい。

8 研究の課題

課題として考えられるのは、ここにあげた取組を継続することである。しかし、実際には読書アンケートからも浮き彫りになった「読書をする時間のなさ」であり、その時間の捻出が課題である。より一層、生徒が本に触れる機会・時間を増やすためにできることは限られているが、「学校での読書」が生徒の大切な読書機会となっているので、学校図書室の本のさらなる充実と環境整備、開館時間の工夫、読書アプリによる感想の交流の活性化が必要である。また、今年度は改装された図書館を、新しい気持ちで利用する生徒や保護者の増加にも期待したい。

最終目標は、児童生徒が自立した読み手となり、生涯にわたって読書に親しみ、豊かな人生を送ることである。デジタルから離れ、紙をめくる。文字から広げる想像。想像から生まれる本の世界。その世界に入り込む入口は、本を手にとることである。デジタルでは味わえない「何か」は、本を読んだものにしか味わえないものであり、それを感じることは、必ず人生を豊かにする。未来を担う本校生徒たちが、今後もいくつものすばらしい本に出会えるよう、本事業の成果を生かしていきたい。

令和5年度 読書活動推進事業アンケート（児童生徒用）

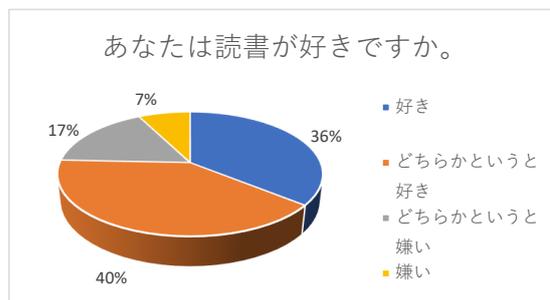
実施日 令和5年6月5日（月）～9日（金）

実施方法 Forms

対象者 校区小学4年生以上～中学3年（253人）

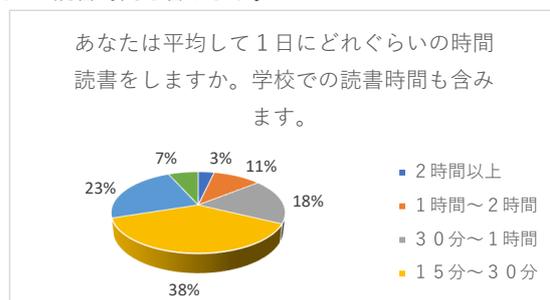
設問1 あなたは読書が好きですか。

回答	合計（人）
好き	81
どちらかという好き	90
どちらかという嫌い	38
嫌い	17



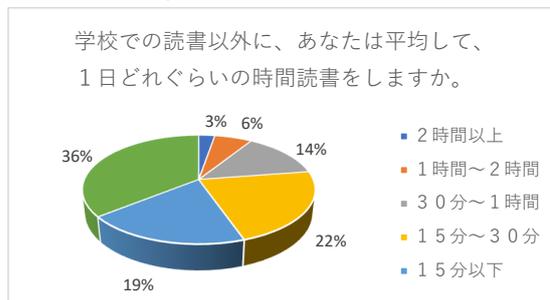
設問2 あなたは平均して1日にどれぐらいの時間読書をしますか。学校での読書時間も含まれます。

回答	合計（人）
2時間以上	8
1時間～2時間	24
30分～1時間	41
15分～30分	85
15分以下	53
読まない	15



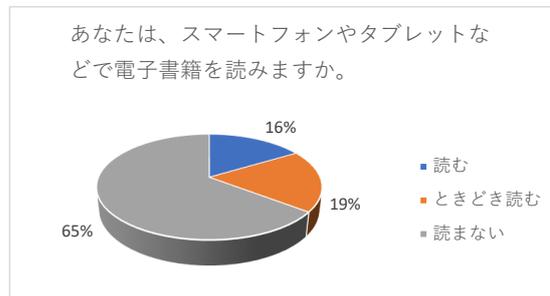
設問3 学校での読書以外に、あなたは平均して、1日にどれぐらいの時間読書をしますか。

回答	合計（人）
2時間以上	6
1時間～2時間	14
30分～1時間	31
15分～30分	50
15分以下	44
読まない	81



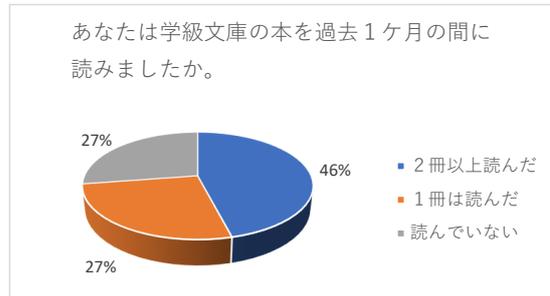
設問4 あなたは、スマートフォンやタブレットなどで電子書籍を読みますか。

回答	合計（人）
読む	37
ときどき読む	43
読まない	146



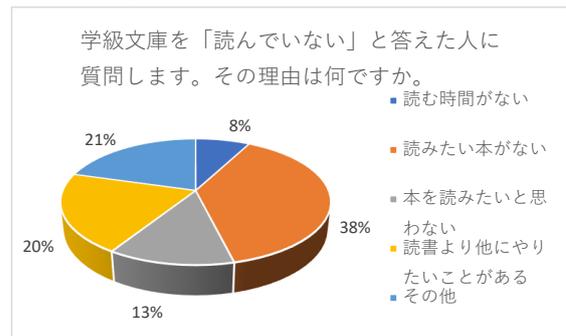
設問5 あなたは学級文庫の本を過去1ヶ月の間に読みましたか。

回答	合計（人）
2冊以上読んだ	104
1冊は読んだ	60
読んでいない	62



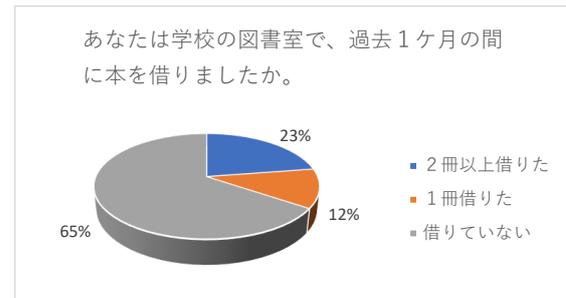
設問 6 学級文庫を「読んでいない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか。

回答	合計 (人)
読む時間がない	6
読みたい本がない	30
本を読みたいと思わない	10
読書より他にやりたいことがある	16
その他	16



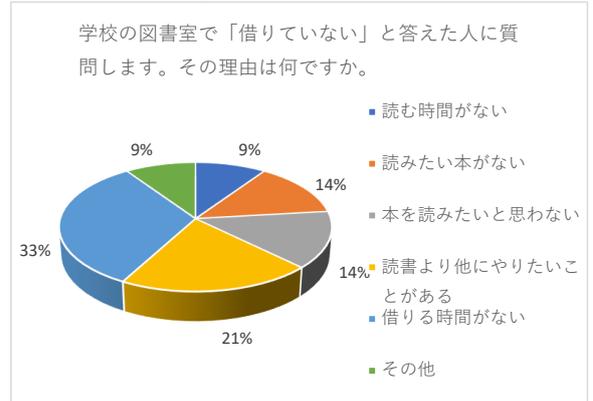
設問 7 あなたは学校の図書室で、過去 1 ヶ月の間に本を借りましたか。

回答	合計 (人)
2 冊以上借りた	51
1 冊借りた	27
借りていない	148



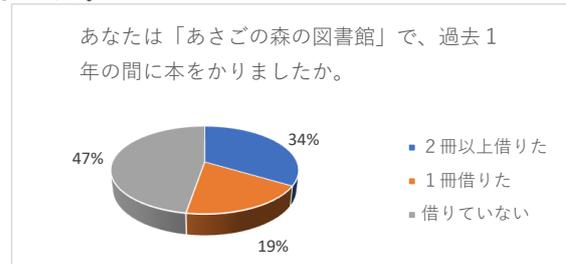
設問 8 学校の図書室で「借りていない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか。

回答	合計 (人)
読む時間がない	18
読みたい本がない	26
本を読みたいと思わない	27
読書より他にやりたいことがある	39
借りる時間がない	62
その他	18



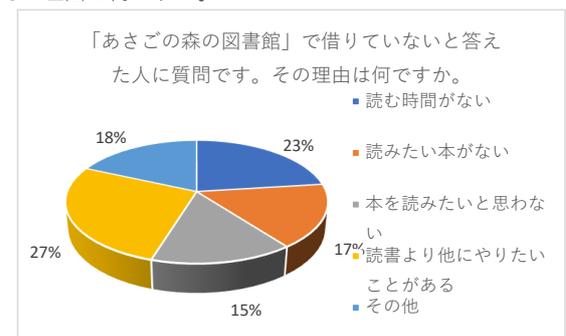
設問 9 あなたは「あさごの森の図書館」で、過去 1 年の間に本をかりましたか。

回答	合計 (人)
2 冊以上借りた	76
1 冊借りた	43
借りていない	107



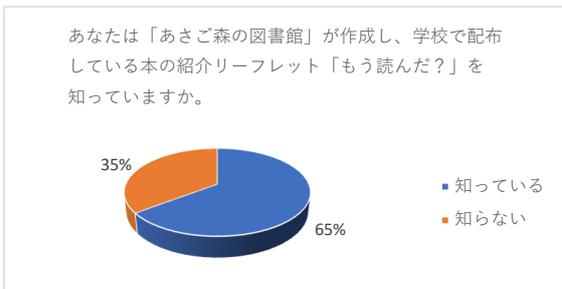
設問 10 「あさご森の図書館」で借りていないと答えた人に質問です。その理由は何ですか。

回答	合計 (人)
読む時間がない	29
読みたい本がない	21
本を読みたいと思わない	19
読書より他にやりたいことがある	34
その他	23



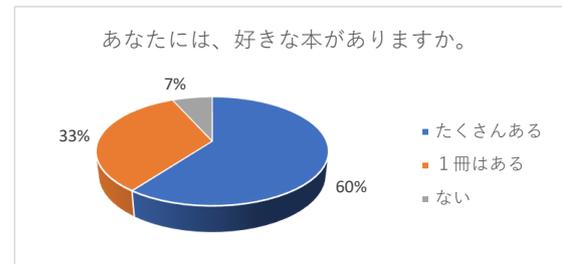
設問 1 1 あなたは「あさご森の図書館」が作成し、学校で配布している本の紹介リーフレット「もう読んだ？」を知っていますか。

回答	合計 (人)
知っている	146
知らない	80



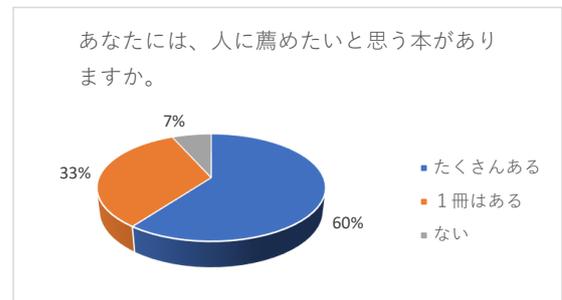
設問 1 2 あなたには、好きな本がありますか。

回答	合計 (人)
たくさんある	136
1冊はある	75
ない	15



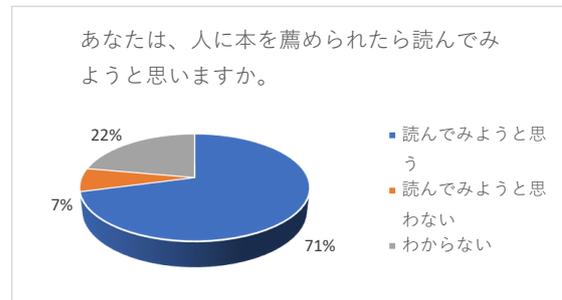
設問 1 3 あなたには、人に薦めたいと思う本がありますか。

回答	合計 (人)
たくさんある	136
1冊はある	75
ない	15



設問 1 4 あなたは、人に本を薦められたら読んでみようと思いますか。

回答	合計 (人)
読んでみようと思う	160
読んでみようと思わない	16
わからない	50



令和5年度 読書活動推進事業アンケート（保護者用）

実施日 令和5年6月8日（木）～16日（金）

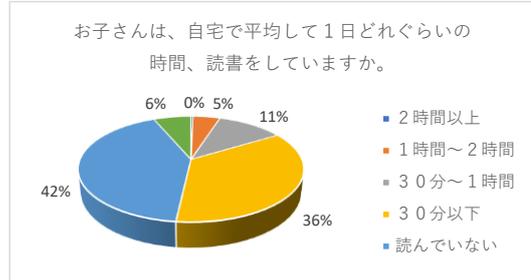
実施方法 さくら連絡網アンケート機能

対象者 朝来中学校区小中学生保護者（346人）

※グラフは合計数値

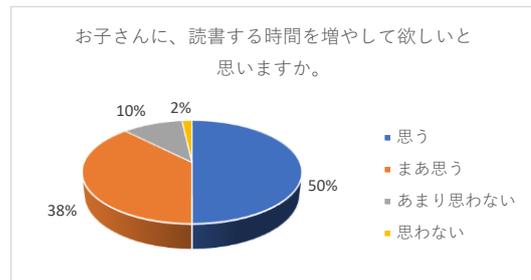
設問1 お子さんは、自宅で平均して1日どれぐらいの時間、読書をしていますか。

回答	合計（人）
2時間以上	1
1時間～2時間	13
30分～1時間	32
30分以下	100
読んでいない	118
分からない	18



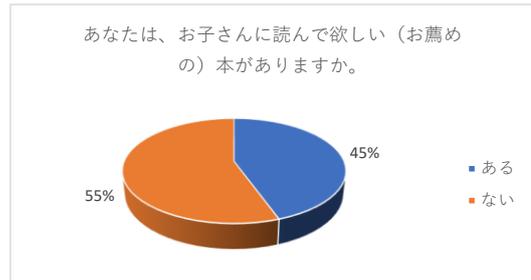
設問2 お子さんに、読書する時間を増やして欲しいと思いますか。

回答	合計（人）
思う	142
まあ思う	107
あまり思わない	30
思わない	5



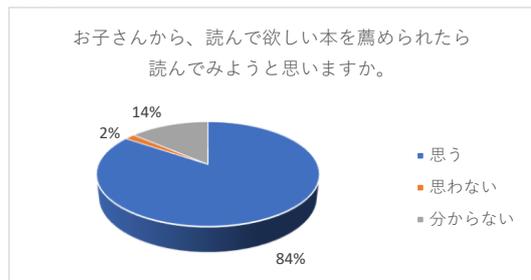
設問3 あなたは、お子さんに読んで欲しい（お薦めの）本がありますか。

回答	合計（人）
ある	126
ない	157



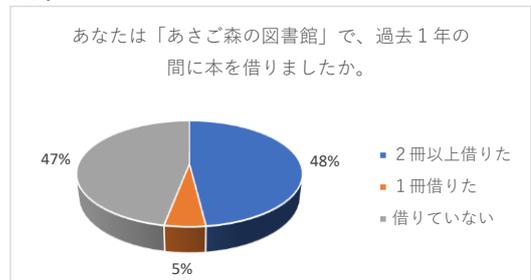
設問4 お子さんから、読んで欲しい本を薦められたら読んでみようと思いますか。

回答	合計（人）
思う	240
思わない	5
分からない	39



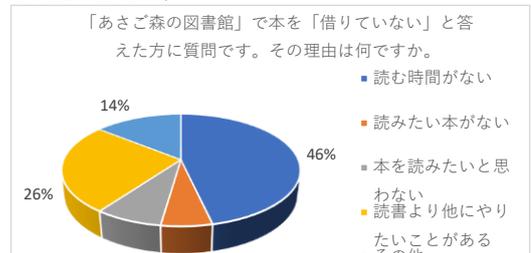
設問5 あなたは「あさご森の図書館」で、過去1年の間に本を借りましたか。

回答	合計（人）
2冊以上借りた	136
1冊借りた	14
借りていない	133



設問6 設問5で「あさご森の図書館」で本を「借りていない」と答えた方に質問です。その理由は何ですか。

回答	合計（人）
読む時間がない	72
読みたい本がない	9
本を読みたいと思わない	12
読書より他にやりたいことがある	40
その他	22

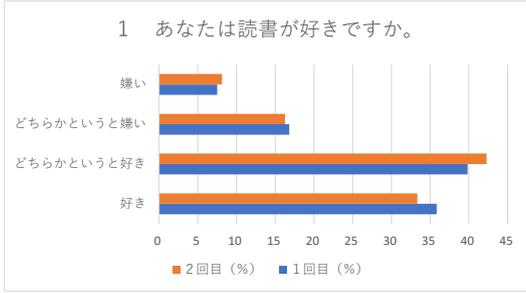


令和5年度 第2回読書活動推進事業アンケート（児童生徒用）

実施日 令和6年2月5日（月）～16日（金）
 実施方法 Forms
 対象者 校区小学4年生以上～中学3年（246人）

設問1 あなたは読書が好きですか。

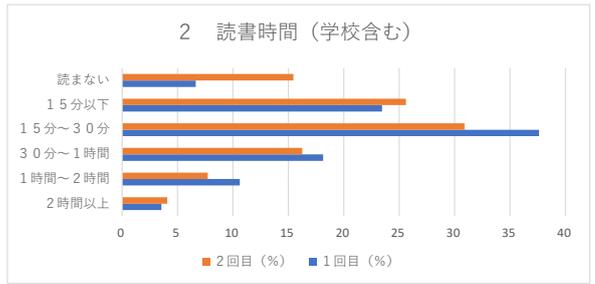
回答	1回目 (%)	2回目 (%)
好き	36	33
どちらかという好き	40	42
どちらかという嫌い	17	16
嫌い	8	8



設問2

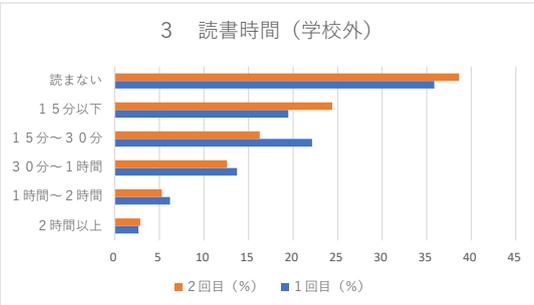
あなたは平均して1日にどれぐらいの時間読書をしますか。学校での読書時間も含まれます。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
2時間以上	4	4
1時間～2時間	11	8
30分～1時間	18	16
15分～30分	38	31
15分以下	23	26
読まない	7	15



設問3 学校での読書以外に、あなたは平均して、1日どれぐらいの時間読書をしますか。

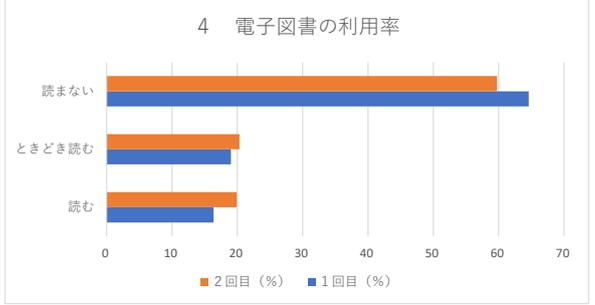
回答	1回目 (%)	2回目 (%)
2時間以上	3	3
1時間～2時間	6	5
30分～1時間	14	13
15分～30分	22	16
15分以下	19	24
読まない	36	39



設問4

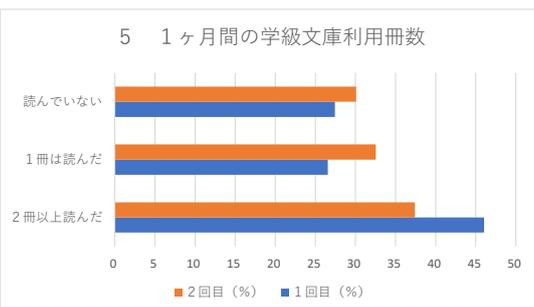
あなたは、スマートフォンやタブレットなどで電子書籍を読みますか。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
読む	16	20
ときどき読む	19	20
読まない	65	60



設問5 あなたは学級文庫の本を過去1ヶ月の間に読みましたか。

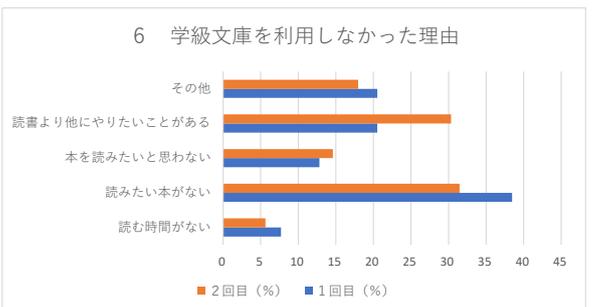
回答	1回目 (%)	2回目 (%)
2冊以上読んだ	46	37
1冊は読んだ	27	33
読んでいない	27	30



設問6

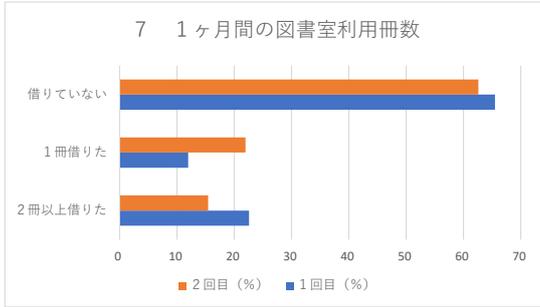
学級文庫を「読んでいない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
読む時間がない	8	6
読みたい本がない	38	31
本を読みたいと思わない	13	15
読書より他にやりたいことがある	21	30
その他	21	18



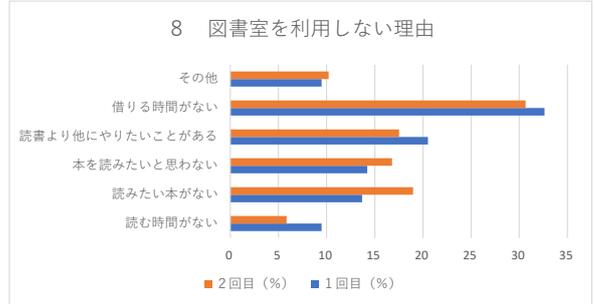
設問7 あなたは学校の図書室で、過去1ヶ月の間に本を借りましたか。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
2冊以上借りた	23	15
1冊借りた	12	22
借りていない	65	63



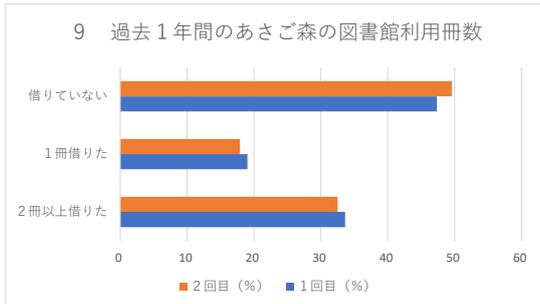
設問8 学校の図書室で「借りていない」と答えた人に質問します。その理由は何ですか。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
読む時間がない	9	6
読みたい本がない	14	19
本を読みたいと思わない	14	17
読書より他にやりたいことがある	21	18
借りる時間がない	33	31
その他	9	10



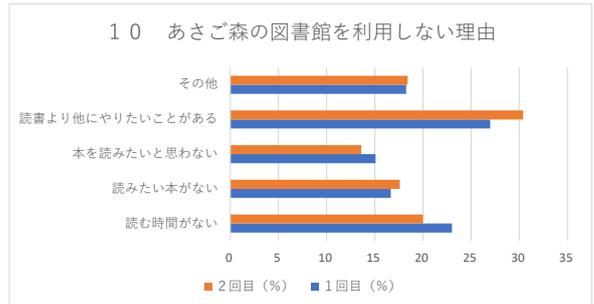
設問9 あなたは「あさご森の図書館」で、過去1年の間に本をかりましたか。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
2冊以上借りた	34	33
1冊借りた	19	18
借りていない	47	50



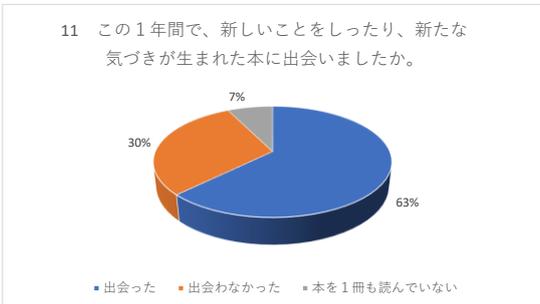
設問10 「あさご森の図書館」で借りていないと答えた人に質問です。その理由は何ですか。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
読む時間がない	23	20
読みたい本がない	17	18
本を読みたいと思わない	15	14
読書より他にやりたいことがある	27	30
その他	18	18

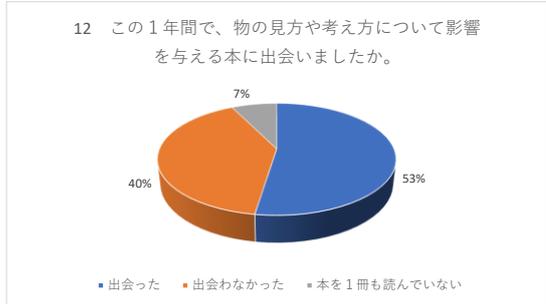


設問11 この1年間で、新しいことを知ったり、新たな気づき生まれた本に出会いましたか。 設問12 この1年間で、物の見方や考え方について影響を与える本に出会いましたか。

回答	合計 (人)
出会った	154
出会わなかった	74
本を1冊も読んでいない	18



回答	合計 (人)
出会った	129
出会わなかった	99
本を1冊も読んでいない	18



設問13 読書活動推進事業で来年度もぜひやってみたいと思う活動とその理由を回答してください。

回答	合計 (人)
読み聞かせ	64
お薦め本紹介	56
ポップ作成	29
意見発表	6
ビブリオバトル	5

※理由は省略します。

設問14

来年度、新たに取り組んでみたいと思う読書活動があれば回答してください。

回答
ブックトーク
本を読んで新聞づくり
自分で本をつくる
本の帯作成
図書委員会主催の読み聞かせ

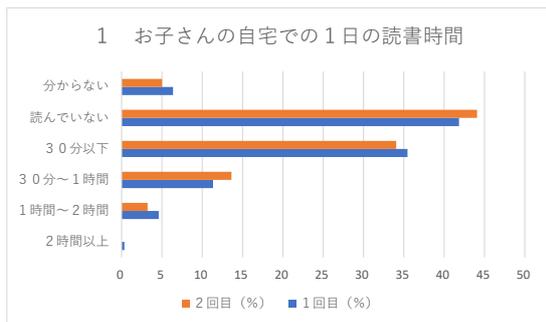
※設問13にない活動を列挙

令和5年度 第2回読書活動推進事業アンケート（保護者用）

実施日 令和6年2月9日（木）～16日（金）
 実施方法 さくら連絡網アンケート機能
 対象者 朝来中学校区小中学生保護者（279人）
 ※グラフは合計数値

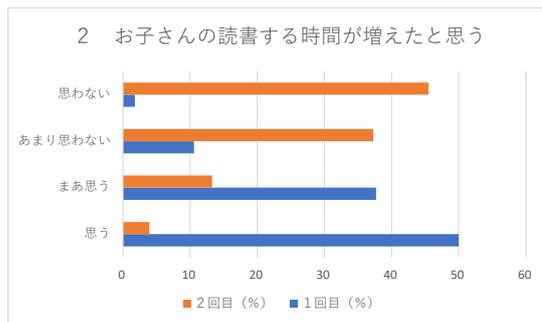
設問1 お子さんは、自宅ですべて1日どれくらいの時間、読書をしていますか。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
2時間以上	0	0
1時間～2時間	5	3
30分～1時間	11	14
30分以下	35	34
読んでいない	42	44
分からない	6	5



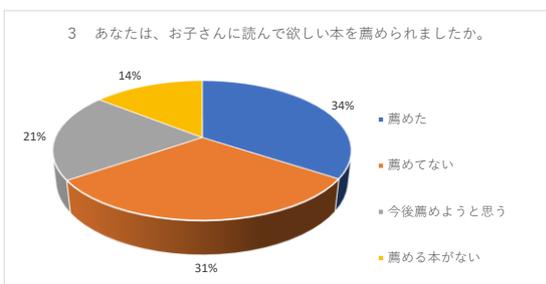
設問2 お子さんが読書する時間が増えて欲しいと思いますか。（1回目）
 お子さんが読書する時間は増えたと思いますか。（2回目）

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
思う	50	4
まあ思う	38	13
あまり思わない	11	37
思わない	2	46



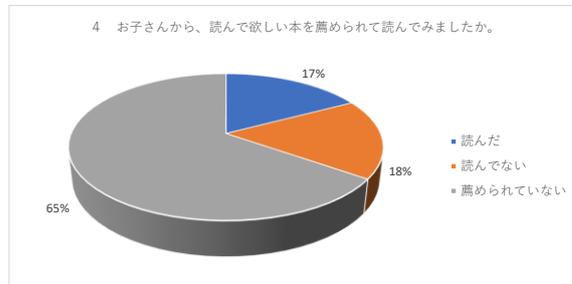
設問3 あなたは、お子さんに読んで欲しい本を薦められましたか。

回答	合計（人）
薦めた	96
薦めてない	87
今後薦めようと思う	57
薦める本がない	40



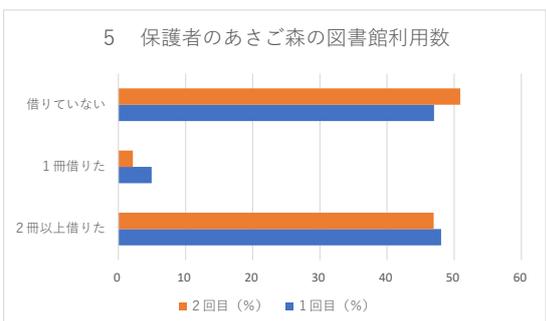
設問4 お子さんから、読んで欲しい本を薦められて読んでみましたか。

回答	合計（人）
読んだ	48
読んでない	49
薦められていない	182



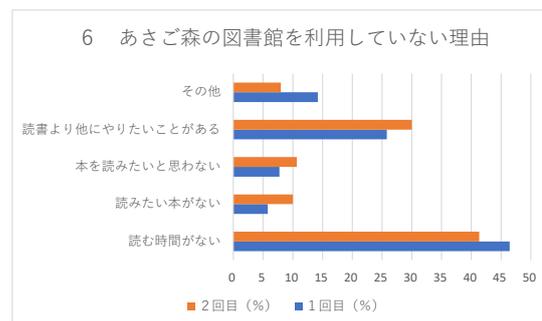
設問5 あなたは「あさご森の図書館」で、過去1年の間に本を借りましたか。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
2冊以上借りました	48	47
1冊借りました	5	2
借りていない	47	51



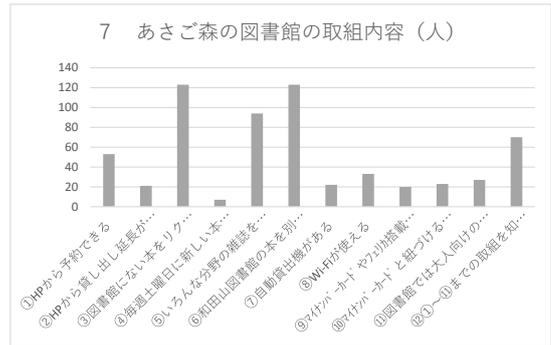
設問6 設問5で「あさご森の図書館」で本を「借りていない」と答えた方に質問です。その理由は何ですか。

回答	1回目 (%)	2回目 (%)
読む時間がない	46	41
読みたい本がない	6	10
本を読みたいと思わない	8	11
読書より他にやりたいことがある	26	30
その他	14	8



設問7 朝来市図書館（あさご森の図書館）の取組について知っている項目を回答ください。（複数回答可）

回答	合計（人）
①HPから予約できる	53
②HPから貸し出し延長ができる（1度限り）	21
③図書館にない本をリクエストできる	123
④毎週土曜日に新しい本が入る	7
⑤いろんな分野の雑誌を所蔵している	94
⑥和田山図書館の本を別の図書館で受け入れる	123
⑦自動貸出機がある	22
⑧Wi-Fiが使える	33
⑨マイパ-カードやFeliCa搭載のカードを貸出券として使用できる	20
⑩マイパ-カードと紐づけると貸出冊数が10→15冊にアップする	23
⑪図書館では大人向けのイベントを	27
⑫①～⑪までの取組を知らない	70



設問8 お子さんの読書量や読書時間を増やすために、ご家庭でどのような工夫をされていますか。

リビングに大きな本棚をつくり、好きな時に本に手が届くようにしている。

こども新聞を購読している。

ネットの時間を少なくするよう声かけする。

できるだけ本を読む習慣をつけられるように、いろんな部屋に本を置いている。

一緒に本を選んで読んで感想を交流する。

家で1番居心地の良い場所に本棚を置いている。本棚の本は定期的に入れ替える。

興味がある本は購入している。

興味のあるような本を図書館で借りたり購入している。

読んだ本の日付、題名、内容や感想を一言、自分なりのお気に入りランクをノートに書いて楽しんでいる。

毎日夜寝る前に本を読む習慣をつける。

読み聞かせや音読をしっかり聞いている。

あさご森の図書館に頻繁に誘っている。

令和6年度 中間経過 読書活動推進事業アンケート（朝来中学校）

実施日 令和6年9月11日（火）～13日（金）

実施方法 Forms

対象者 朝来中学校生徒

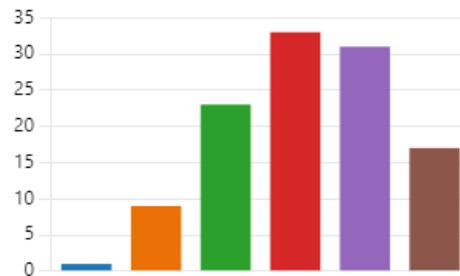
設問1 あなたは読書が好きですか。

回答	合計（人）
好き ■	39
どちらかという好き ■	45
どちらかという嫌い ■	19
嫌い ■	11



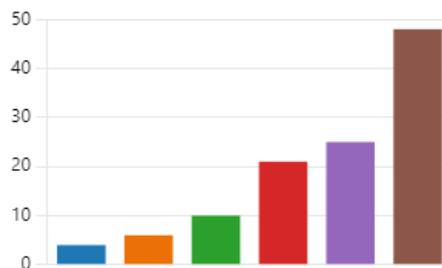
設問2 あなたは平均して、1日にどれぐらいの時間読書しますか。

●	2時間以上	1
●	1～2時間	9
●	30～1時間	23
●	15～30分	33
●	15分以下	31
●	読まない	17



設問3 学校での読書以外に、あなたは平均して、1日にどれぐらいの時間読書をしますか。

●	2時間以上	4
●	1～2時間	6
●	30～1時間	10
●	15～30分	21
●	15分以下	25
●	読まない	48



設問4 あなたは、スマートフォンやタブレットなどで電子書籍を読みますか。

●	読む	33
●	ときどき読む	21
●	読まない	60



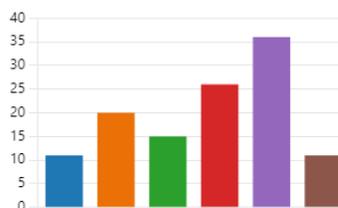
設問5 あなたは学校の図書室で1学期の間に本を借りましたか。

●	2冊以上借りた	11
●	1冊借りた	13
●	借りていない	90



設問6 学校の図書室で『借りていない』と答えた人の理由。

●	読む時間がない	11
●	読みたい本がない	20
●	本を読みたいと思わない	15
●	読書より他にやりたいことがある	26
●	借りる時間がない	36
●	その他	11



設問7 あなたは「あさご森の図書館」で、過去1年間で本を借りましたか。

●	2冊以上借りた	30
●	1冊借りた	21
●	借りていない	63



設問8 「あさご森の図書館」で『借りていない』と答えた人の理由。

●	読む時間がない	14
●	読みたい本がない	10
●	本を読みたいと思わない	17
●	読書より他にやりたいことがある	22
●	その他	11



設問9 あなたは昨年度、朝来中学校の各学年で行った「読書活動」を知っていますか。

●	「読み聞かせ」は知っている	9
●	「ビブリオバトル」は知っている	21
●	「本のポップ作り」は知っている	40
●	すべて知っている	19
●	知らない	25



設問10 上記のような取り組みの中で、あなたが興味を持った活動はどれですか。

●	絵本の読み聞かせ	15
●	ビブリオバトル	18
●	ポップ作り	38
●	読書に関する活動は苦手	40
●	その他	3



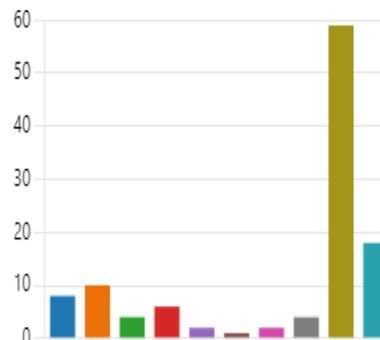
設問11 あなたには、好きな本がありますか。

●	たくさんある	41
●	数冊ある	45
●	1冊ある	17
●	ない	11



設問12 どんなジャンルの本が好きですか。

●	文学・評論	8
●	ノンフィクション	10
●	歴史・地理	4
●	芸能・エンターテイメントなどの雑誌	6
●	図鑑・事典	2
●	音楽・レシピ関係	1
●	旅行・紀行	2
●	絵本・児童書	4
●	マンガ	59
●	その他	18



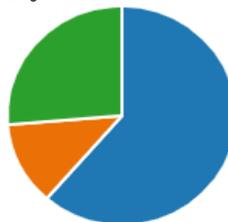
設問13 あなたは人に薦めたいと思う本がありますか。

●	たくさんある	22
●	数冊ある	25
●	1冊ある	25
●	ない	42



設問14 あなたは、人に本を薦められたら読んでみようと思いますか。

	思う	70
	思わない	14
	わからない	30



設問15 あなたは本を読んだときにどんな気持ちになりますか。

マイナス感情	・どんな気持ちにもならない、分からない。
	・疲れた、長い...、面倒くさい。
プラス感情	・おもしろい、感動できる、楽しい、共感できることもあってワクワクする。
	・本はいい、ためになる、いろいろなことが学べたり、知らないことが知れたりする。
	・想像力が豊かになってそうと、勉強になる。
	・本の世界に入った気分になれ、感情移入でき、見方が変わる。
	・気持ちが穏やかになり、落ち着き、すっきりすることがある。
	・なんでだろうと考察したくなる、登場人物の関係性や筆者の考えを整理したい。
	・作者は他にどんな作品を書いているのだろう、作者はすごいと感じる。
・また読みたい	

設問16 どのような本を読んだときに『また読みたい』となりますか。

・面白い本、感動系の本
・思わぬ展開が起こったり他の本と変わった雰囲気の本
・マンガ
・ファンタジー系や冒険系、ミステリーなどの小説
・表現が好きな本、伏線がある本、さまざまな解釈ができる本、好きな作家の本
・結末の意味が分かりやすい、